



夏の高校野球、富士球場の審判主任

うんの海野郁夫さん  
平垣 (46歳)

「審判は現役に未練があるとできません。日曜日はつぶれることが多い、会社勤めの人は休暇を取ることもあります。結局は自分が好きでやっているわけですが家庭と職場の理解は欠かせませんね」と試合中の厳しい顔とはうって変わった笑いを見せる。  
「選手があいさつしてくれるのが一番うれしい」という海野さんに、忙しい夏がまたやってくる。

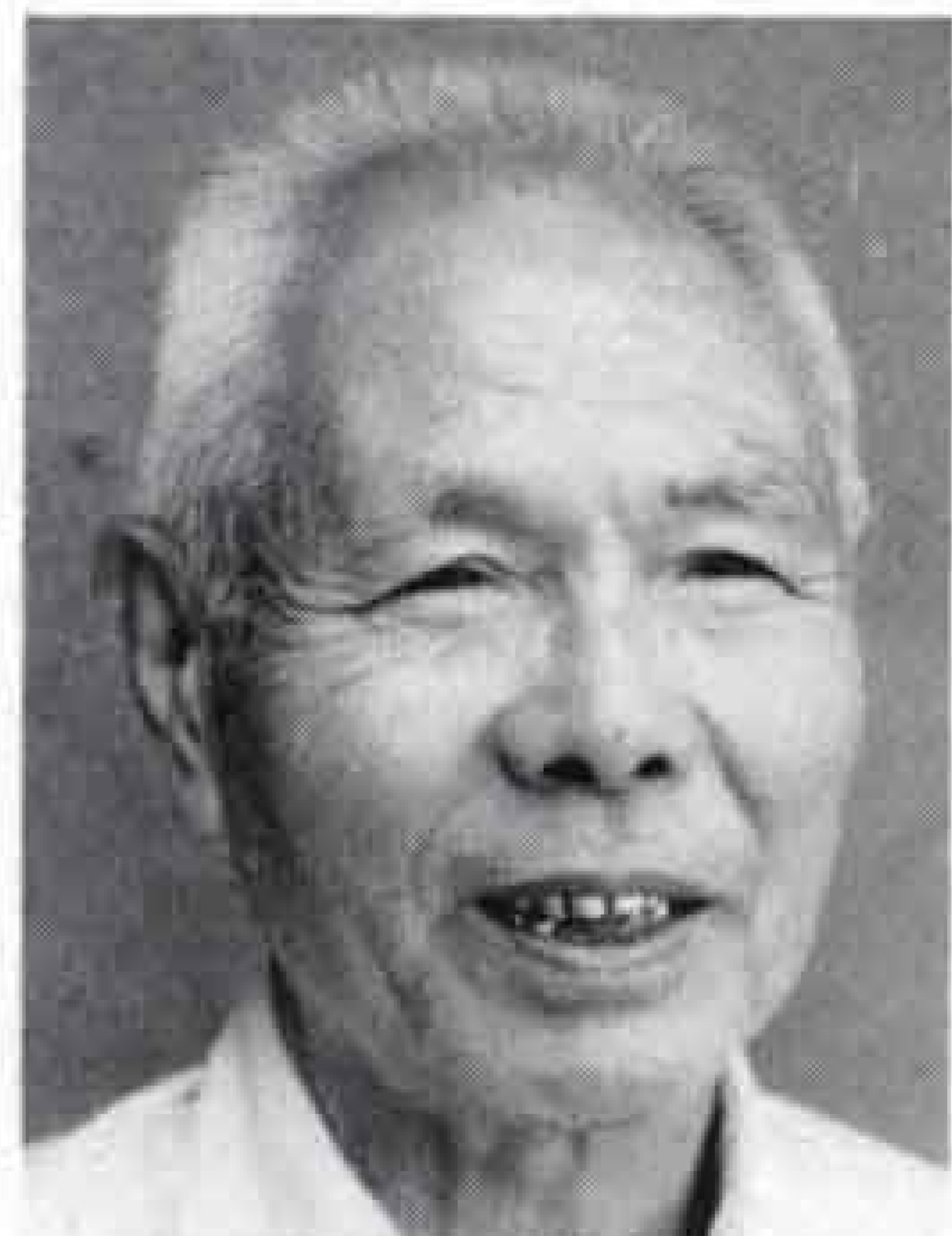


七月十二日から、夏の高校野球地方大会予選が始まります。大会期間中、炎天下で、選手同様体力と集中力を要するのが審判員の皆さん。海野さんは、富士球場の審判主任として、この期間、商売そっちのけで球児たちの黒子をつと

めます。  
学生時代は、野球、テニス、ラグビーなどをこなしたスポーツマン。準硬式野球では、自分が代表をしていた「スパロース」で国体四位になったこともあります。  
審判を始めたのは昭和三十八年ごろで、現在、富士の地区長もつとめています。



我がまちを語る



佐野一郎さん  
水戸島本町(75歳)

富士駅南地区は、戦前まで一面のナシ畑でした。終戦後は、交通の便がよい上、地域にある東芝や大昭和製紙富士工場などが大きくなり、人口がふえていきました。そして、田子の浦港の開港によ

り進出した企業の関係者も多く転入してきました。  
人がふえれば商店もできるというわけで、現在のような街になりました。ですから、早い遅いの差こそあれ、大部分が戦後住み出した人ばかりです。  
この地区の人は、みんな人柄のよいのが特徴です。頼まれるといやと言えない人が多く、やり出すととことんやるタイプです。そのせいか、地区の体育祭はほとんどの家に参加し、大変にぎやかです。これから新幹線新駅ができると、この地区は富士駅との接続部分に当たり、発展が楽しみです。



さわやかな歌声を...  
コーラスグループオレンジの会

「フレッシュでさわやかな歌声を...」とオレンジの会と命名。昨年、会発足十周年を迎えた息の長いコーラスグループ。恵まれた指導者(指揮松島さん、ピアノ齊藤さん)のもとに、二十代から五十代まで幅広い層が参加。音楽を通じて、それぞれ年代にあった女性らしさや情操を身につけたいという会員の皆さんです。



青春のエネルギーを体操に  
青木朋子さん(横割一)

富士東高一年生の青木朋子さんは、体操に青春のエネルギーを燃やしています。  
青木さんは、小学校四年生ときから体操を始め、中体連では全国大会に出場。先日行われたインターハイ東部予選では、一年生ながら個人総合優勝を果たしました。次は国体予選。休む間もなく練習に励んでいます。



ナシをこつこつと四十余年  
大石信雄さん(水戸島)

「ナシのよしあしは何といっても甘みだネ...。幸いに、このあたりは気候、土質に恵まれていてよい品質のナシができるネ」とナシづくりに四十余年のキャリアを持つ大石さん。「何でもそうだが、特にナシは、常に手をかけてやらないといものはできないネ」と富士ナシの復活に期待を寄せるナシづくりの大ベテランです。

あの人...この人...こんなこと

